

動物（要約）

伊勢志摩国立公園には、森林や山、切り立った岸壁、海岸、湾などの多様な環境があり、多様な野生動物の生息地となっています。

潮間帯（満潮時に水に覆われる部分）は、干潮時にしか見られないさまざまな生き物の生息地になっています。イソギンチャクやカニ、ヒトデ、ウニ、巻き貝やウミウシの仲間を見つけることができます。波打ち際から海底まで続く岩礁帯は、岩の隙間に伊勢志摩の有名なイセエビやアワビなどが隠れています。

伊勢湾や太平洋に面した砂浜は、アカウミガメを惹きつけ、巣をつくるための場所を提供しています。

魚や甲殻類などを餌とする海鳥の仲間は海岸の近くに暮らしています。カワウは一年中見ることができます。伊勢湾や大きな川の河口などで群れをなします。ミサゴは、海岸の近くに飛んでいて、水に潜って魚を捕まえます。

河口周辺や干潟などの汽水域では、イトトンボの仲間であるヒヌマイトンボといった希少な昆虫が生息しています。

このほか、山間地では、シカやイノシシ、ニホンザルなども多く生息しています。